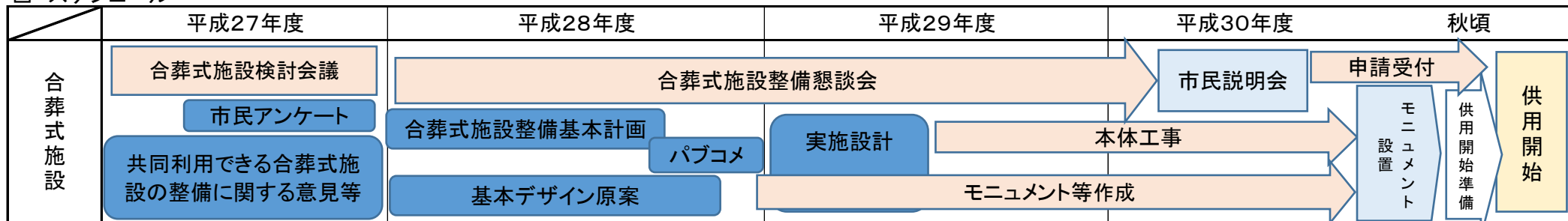


合葬式施設の整備スケジュール及び使用方法, 使用料の考え方について

□ スケジュール



使用方法の考え方について

納骨

○ 遺骨の納め方
⇒ 納骨する方(遺族等)が袋(和紙, さらし生地)に遺骨を納めた上で納骨する。

○ 納骨日の設定
⇒ 旭川聖苑の開苑時間を考慮し、友引日とする。(供用開始直後は多数の納骨が想定されるため、別途納骨日を設定)

使用許可申請

○ 生前予約
⇒ 施設として十分な規模であるが、利用希望者の安心確保のため生前申請により使用を許可する。(利用希望者が死亡した場合には、その遺骨を納める方(遺族等)が必要となるため、実際に施設を使用するときには改めて納骨する方(遺族等)から使用申請, 使用料の納付を受ける。)

利用者の範囲

○ 利用者の範囲

	利用者	故人	使用の可否	備考
居住地	市内	市内	○	
		市外	○	
	市外	市内	○	
		市外	×	近郊町検討

施設名称

「旭川市共同墓」
(認知されている名称, 分かりやすい名称)

埋蔵者の確認

データ管理した情報により, 氏名, 没年等を検索できるシステムを整備する。

使用料の考え方について

市民感情

市民アンケートの結果(H27.8)

○ 1万円以下の選択肢がある中で, 5万円以下の回答が多かった。

使用料だけではなく, よりよい施設・サービスが要望されている

◇ニーズとの合致 ◇道内他都市との比較 ◇使用しやすい金額

数値的積算根拠

工事費

埋蔵予定数⇒1万1千体(200体×50年)

管理費(50年間)

使用料(管理料含む)

26,000円

(近隣8町 39,000円(5割増))

道内他市

札幌市, 千歳市, 小樽市, 江別市, 北広島市, 帯広市, 北見市, 網走市, 恵庭市, 北斗市, 士別市, 室蘭市, 苫小牧市, 岩見沢市

直接埋葬(遺骨をそのまま納骨)

5,000円~27,000円